

阿嘉島臨海研究所の3年間 (1991-1993年) の動き

利用者と研究課題を中心に

1991年 (平成3年)

- 3月 「シガテラ原因渦鞭毛藻に関する研究」石丸 隆・小池一彦ほか (東京水産大学)
「アミ類の分類学的研究」村野正昭 (東京水産大学)
「近底層動物プランクトンの生態学的研究」菊池知彦ほか (横浜国立大学)
「潮間帯フジツボおよびサンゴフジツボの地理的分布調査」山口寿之 (千葉大学)
「クロフジツボ類の繁殖期調査」雑賀 修
AMSL「サンゴ礁の健康診断の研究」に日本科学協会より研究助成交付
- 4月 「サンゴの産卵の撮影」伊藤勝敏
- 5月 「造礁サンゴの産卵・発生観察 (大学院研究)」王 文樵 (東京水産大学)
「造礁サンゴのプラヌラ幼生に見られる基質の選択 (卒業研究~7月)」橋本和正 (東京水産大学)
「造礁サンゴの成長における光と摂餌の重要性についての研究 (卒業研究~7月)」大池将一 (東京水産大学)
「サンゴの産卵時における環境条件の合同観測」工藤君明ほか (海洋科学技術センター)
「造礁サンゴの生殖・発生に関する研究」柿沼好子・塚原潤三 (鹿児島大学)・大久保美智子 (鹿児島純心女子短期大学)
「サンゴ卵の化学成分に関する研究」内尾康人 (鹿児島大学医療技術短期大学部)
「沖縄県水産業改良普及員会議」嘉数 清ほか (沖縄県水産業改良普及所)
- 6月 「造礁サンゴの生殖・発生に関する研究」柿沼好子・塚原潤三 (鹿児島大学)・鹿島友義 (鹿児島大学医療技術短期大学部)
- 7月 「海産ヒドロゾアの分布調査と採集、個体識別機構の研究」杉山 勉 (国立遺伝学研究所)
「寄生性甲殻類の分類並びに生態学的研究」小川数也 (中井研究室)
「黒潮流域のイシサンゴ類と魚類の分布調査」福田照雄・野村恵一ほか (海中公園センター)
「軟体動物囊舌目の研究」Marina Ichikawa (京都大学瀬戸臨海実験所)
「コショウダイ類稚魚の分類」岸本浩和 (東海大学海洋研究所)
「シガテラ原因渦鞭毛藻に関する研究」小池一彦 (東京水産大学)
「アミ類の分類学的研究」村野正昭ほか (東京水産大学)
「東シナ海におけるヤムシ類の分布」神谷ひとみ (長崎海洋气象台)
「サンゴの生態分布」境 徳子 (日本歯科大学)
- 8月 「底生鞭毛藻の分離」井上晃男 (鹿児島大学南太平洋海域研究センター)
「サンゴの生殖と発生の研究」塚原潤三・市川敏弘 (鹿児島大学)
- 9月 「水中映像機材開発」工藤昌男 (DIV)
- 10月 「造礁サンゴの石灰化の研究」池田 穰 (海洋バイオテクノロジー研究所)
「熱帯系ホヤ類の分類学的研究」西川輝昭 (名古屋大学)
「クシハダミドリイシの再生過程におけるポリプの分布パターンの変化と組織学的比較研究」下池和幸が第62回日本動物学会 (岡山) で発表
- 11月 「海洋生物地理学研究」S.Van der Spoel (アムステルダム大学分類学研究所)
「阿嘉島周辺海域の軟体動物相調査」波部忠重 (評議員)
「視察会」濱田隆士ほか (東京大学)、小西健二 (金沢大学)、千々谷真日人 (科学技術庁)、大森 信・近藤恭子 (東京水産大学)、真木正利 (ソニー)
「水中映像機材開発」工藤昌男 (DIV)
- 12月 「アサヒガニの種苗生産技術交流会」(鹿児島) 林原 毅 参加

年間を通じたその他の主な訪問者

Michael Pichon (オーストラリア国立海洋研究所)、高有峯 (韓国済州大学校海洋学部)、Shane Lavery (クィーンズランド大学)、大野正夫ほか (高知大学)、並河 洋 (北海道大学)、菊池義昭 (茨城大学)、岩崎望 (高知大学)、久保田 信 (北海道大学)、土田英治 (東京大学海洋研究所)、雨宮昭南 (東京大学三崎臨海実験所)、鈴木淳 (東北大

学)、安部理 (名古屋大学)、渡部良朋ほか (電力中央研究所)、竹前真・梅沢千鶴子ほか (科学技術庁)、宮室 誠
ほか (基盤技術研究促進センター)、中原裕幸ほか (海洋産業研究会)、泉 正南 (海外漁業協力財団)、大和田 稔
ほか (電発環境緑化センター)、西沢悟 (テレビ朝日)

AMSL 刊行物

「みどりいし」No.2

1992 年 (平成 4 年)

- 1 月 「底性鞭毛藻および底性動物プランクトンの研究」村野正昭・石丸 隆・小池一彦ほか (東京水産大学)
「海中公園地区再編整備及び利用に関する検討調査」藤原秀一 (海中公園センター)・濱田隆士 (東京大学)・
鳥居敏夫 (環境庁) ほか
「ワレカラ類の分類および生態学的調査」竹内一郎 (東京大学海洋研究所大槌臨海研究センター)
- 2 月 「外地島周辺サンゴ生育状況調査」山城 篤ほか (沖縄環境分析センター)
「サンゴの産卵に関する情報交換」御前 洋 (八重山海中公園研究所)
- 3 月 「沖縄における鯨類調査」宮崎信之 (国立科学博物館)
- 4 月 「サンゴの産卵と環境条件に関する研究」柳 哲雄 (愛媛大学工学部)・石丸 隆 (東京水産大学)
「海水精密濾過機の試運転」中尾憲二 (三井造船)
「ヤコウガイ稚貝の摂餌生態」下池和幸が平成 4 年度日本水産学会 (東京) で発表
- 5 月 「サンゴ礁魚類の分類学的研究」John E.Randall・Richard L.Pyle (ハワイ・ビショップ博物館)
「ミドリイシサンゴの遺伝子研究 (大学院研究)」王文樵 (東京水産大学・国立遺伝学研究所)
「造礁サンゴの初期発生と幼生飼育法の研究 (大学院研究 ~ 7 月)」大池将一 (東京水産大学)
「阿嘉島における造礁サンゴの卵と幼生の分布 (卒業研究 ~ 7 月)」藤村俊一郎 (東京水産大学)
- 6 月 「サンゴ礁魚類の分類学的研究」島田和彦 (沖縄県農林水産部)
「阿嘉島における造礁サンゴの産卵」林原 毅、「ミドリイシサンゴの分割産卵の観察」下池和幸、共に第 7 回国際
サンゴ礁シンポジウム (グアム) で発表
- 7 月 「阿嘉島周辺の海藻調査」浪岡日左雄ほか (海藻資源研究所)
「屋嘉比島阿嘉島周辺海域底生生物調査」野村恵一 (海中公園センター)
「チョウチョウオ属の社会構造調査」藪田慎司 (京都大学)
「熱帯系ホヤ類の分類学的研究」西川輝昭 (名古屋大学)
「八放サンゴ類の分類学的研究」今原幸光 (和歌山県立自然博物館)
「イシサンゴの成長と増殖に関する研究」岩瀬洋一郎・秦 浩司 (間組技術研究所)
「屋嘉比島の動物相を中心とした生態系調査」ウミガメ類産卵調査: 亀崎直樹 (京都大学)・平手康市 (沖縄県
水産振興課) ほか、ヘビ類の捕食行動: 森 哲 (京都大学)
- 8 月 「サンゴ礁による CO₂ 固定メカニズムの研究」茅根 創 (地質調査所)
- 9 月 「紅藻サンゴモ類の分類と生態に関する研究」馬場将輔 (海洋生物環境研究所)
「屋嘉比島魚類相調査」吉野哲夫 (琉球大学)・島田和彦 (沖縄県) ほか
「造礁サンゴの石灰化の研究」池田 穰 (海洋バイオテクノロジー研究所)
- 11 月 「ヒドロ虫類の系統分類学的研究」久保田 信 (京大・瀬戸臨海実験所)
「視察会」パラオ熱帯生物研究所岩山会同窓会: 元田 茂 (評議員)・三宅貞祥 (評議員)・川口四郎・阿部宗明、
軟体動物相調査: 波部忠重 (評議員)、視察: 小田原利光 (評議員)、辻 信一 (科学技術庁)、本川達雄 (東京
工業大学)、大森 信 (理事・東京水産大学)、中山八島 (財団参与)
「慶良間諸島における造礁サンゴ類生息環境の予備的調査」立川浩之 (小笠原海洋センター)
- 12 月 「阿嘉島における造礁サンゴの産卵パターン」林原 毅、「沖縄県阿嘉島におけるシロレイシガイダマシ類の生態」
下池和幸、共に第 6 回日本ベントス学会 (清水) で発表

年間を通じたその他の主な訪問者

Engelbert Hobmayer (国立遺伝学研究所)、C.P.Norman (東京水産大学)、松岡未央 (高知大学)、小達繁 (日本
水産資源保護協会)

AMSL 刊行物

「みどりいし」No.3

1993年(平成5年)

2月「サンゴ礁の環境保全に関するゼミ」政経大学紋谷研究室

4月「カニダマシ類の分類学的研究」大澤正幸(東京水産大学)

「底生渦鞭毛藻培養株の分離」小池一彦(東京水産大学)

「イシサンゴ類の発生(大学院研究~7月)」大池将一(東京水産大学)

5月「ミドリイシ属サンゴの分類学的研究」Carden Wallace(オーストラリア・トロピカルクイーンズランド博物館)

「イシサンゴおよびソフトコーラルの産卵に関連する化学成分の抽出(毎月定期採集)」内尾康人(鹿児島大学医療技術短期大学部)

「サラサエビ類の分類学的研究」奥野淳兒(日本大学)

6月「サンゴの産卵写真撮影」伊藤勝敏ほか

「ミドリイシサンゴの遺伝子研究」王文樵(東京水産大学・国立遺伝学研究所)・服田昌之(国立遺伝学研究所)

「造礁サンゴの炭素同位体比および放射性核種濃度の分析」立田 穰(電力中央研究所)

「魚類の繁殖生態研究」中園明信・Terry Donaldson(九州大学農学部)

「阿嘉島周辺海域底生生物調査」野村恵一(串本海中公園センター)

7月「甲殻類の発生分類学的研究」洪性潤ほか(韓国・釜山水産大学校)

「サンゴフジツボ類の分類学的研究」朝見清孝(千葉大学)

「底生鞭毛藻類と褐藻抽出液の採集」石丸 隆・小池一彦(東京水産大学)

「漂流ハガキ実験によるサンゴ幼生の分散先の推定」木村 匡が太平洋学術中間会議(沖縄)で発表

8月「ウニ類の歯結晶物質の観察」山下邦彦(金沢大学)

「屋嘉比島の動物相を中心とした生態系調査」ウミガメ類産卵調査: 亀崎直樹(京都大学)・平手康市(沖縄県水産振興課)ほか、ヘビ類の捕食行動: 森 哲(京都大学)、は虫類調査: 大田英利(琉球大学)、ケラマジカ調査: 伊澤雅子ほか(琉球大学)

9月「造礁サンゴの石灰化に関する研究」池田 穰(ハザマ技術研究所)・秦 浩司(海洋バイオテクノロジー研究所)

「サンゴ礁内における富栄養化物質の動態」青木豊明(大阪府立大学)

「ゴンズイの遺伝学的分類研究」松岡未央(高知大学)

10月「魚類の繁殖生態研究」Terry Donaldson・川瀬裕司(九州大学)

「沖縄県阿嘉島におけるシロレイシガイダマシ類の生態」下池和幸が第7回日本ベントス学会(仙台)で発表

11月「視察会」大森 信・山川 紘・石井晴人(東京水産大学)、池田 友之(水産無脊椎動物研究所)、掘由紀子・山口喜行(江ノ島水族館)、梅沢 敏(水産庁西海区水産研究所)、波部忠重(評議員)、辺見喜則・大江 亮(リタケカンパニー)

「ヒドロ虫類の系統分類学的研究」久保田 信(京都大学瀬戸臨海実験所)

12月「沖縄気象海洋談話会」小賀百樹ほか(琉球大学)・黒岩博司ほか(沖縄電波観測所)・屋良一(沖縄気象台)

年間を通じたその他の主な訪問者

坂田俊文(東海大学情報技術センター)、酒井忠二三(理事・リモートセンシング技術センター)、大森房良ほか(海洋科学技術センター)、岸野元彰(理化学研究所)、杉山 勉(国立遺伝学研究所)・美濃部純子(福岡女子大学)、廣田 洋ほか(東京工業大学)、獅山有邦(厚生省)、鹿熊信一郎(沖縄県漁政課)、山本正之(海洋生物環境研究所)、野中正法(国営沖縄記念公園水族館)、津田博司ほか(新技術事業団)、桜井洋子ほか(科学技術庁)、小達和子(日本プランクトン学会会員)、土屋康文(総合ビデオサウンド)、喜瀬真勝ほか(沖縄映像センター)

AMSL 刊行物、論文

「みどりいし」No.4、「AMSL だより」Nos.1~4、英文パンフレット、国際サンゴ礁学会ニューズレター REEF ENCOUNTER に AMSL 紹介文掲載

Hayashibara, T., K. Shimoike, T. Kimura, S. Hosaka, A. Heyward, P. Harrison, K. Kudo, M. Omori (1993) Patterns of coral spawning at Akajima Island, Okinawa, Japan. Mar. Ecol. Progr. Ser. 101: 253-262.

Shimoike, K., T. Hayashibara, T. Kimura, M. Omori (in press). Observations of split spawning in *Acropora* spp. at Akajima Island, Okinawa. Proc. Intl. Coral Reef Symp., Guam. June 1992.